

# 参考

## 地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000） 交付決定事業一覧（7月8日受付分）

（単位：千円）

団体名		事業名	交付予定額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	愛媛県 久万高原町	食・農・地域の課題 に挑むプロジェクト 『UNDR12』	5,500  （国費 4,125 地方費 1,375）	6,000	伊予銀行	・痛みや傷により選果外となる野菜や果物が大量に発生し、廃棄を余儀なくされている。 ・野菜等を廃棄したことに伴う損失に対して町が農家へ財政支援しており、町の財政的負担が大きい。	久万高原町のロス野菜を町内に設置する加工場で乾燥させ、おいしい商品へアップサイクルし、全国へ向けた販売展開を行う（『UNDR12』）ことで、フードロス解消と地域活性化を同時に達成する。	「野菜乾燥のメリット」 生鮮野菜は9割が水分のためフードマイレージが高み、現地で乾燥作業を行い輸送と保管コストを削減できる。 「フードロス×地域課題解決」 あらゆる影響に鑑みて生産地で乾燥加工まで実施しています。乾燥後に配送することで配送効率が高まるのが乾燥野菜の特徴ですが、それ以上に地域に根ざして生産し地元OEMとの共同企画や雇用創出なども実施できる。
2	鹿児島県 出水市	保育所併設型就労支援事業 所整備事業	14,000  （国費 9,333 地方費 4,667）	14,000	鹿児島銀行	・待機児童問題 ・事務職への求職者超過による求人と求職のミスマッチ ・就労先と待機児童のミスマッチ（働かないと預けられない、預けないと雇用されない） ・市郊外への大型店舗の進出による中心市街地の商店街の買い物客の減少	子育て世代の方々が安心して就労できる、雇用と保育を同時に提供する施設及び環境を整備し、就労支援を行うために、地域商店街の中心に位置する銀行跡を利用して、保育所併設型就労支援施設へ改修を行う。	中心市街地にシンボリックな建物としてありながら利用されていなかった旧鹿児島銀行出水支店を活用し、本市が抱えている課題である、子育て世代の就業、人口流出、中心市街地の活性化に向けた事業となっている。 建物の活用においては出水市と鹿児島銀行とで締結している地方創生に係る相互協力及び連携協定により官民協力した取組として建物の賃借料について民間事業者が参入しやすいよう定め、事業の継続しやすい環境を整えている。

国費 13,458  
地方費 6,042